競技注意事項

1 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

また、県選手権種目（競歩を除く）はWR k申請対象とする。

なお、競技規則の**競技会規則**(Competition Rules)をCR、**競技規則**(Technical Rules)をTRと表記する。

(1) ハードル種目の区分ハードル種目の区分（ハードルの高さ／ハードルの間の距離）は、次のとおりとする。

男子 110mH (1.067m/9.14m) 少年男子B 110mH (U20/U18) (0.991m/9.14m)

女子 100mH (0.838m/8.50m) 少年女子B 100mH (0.762m/8.50m)

男子 300mH (0.914m/35m) 45m+8台+10m 女子 300mH (0.762m/35m) 45m+8台+10m

(2) 投てき種目の区分（重さ）は、次のとおりとする。

砲丸投 男子 一般 (7.260kg) 女子 一般・高校 (4.0kg)

円盤投 男子 一般 (2.0kg) 少年B (1.5kg) 女子 (1.0kg)

ハンマー投 男子 一般 (7.260kg) 少年A (6.0kg) 女子 (4.0kg)

やり投 男子 (800g) 女子 (600g)

2 ウォームアップ・練習について

本大会（競技会）の期間に、練習会場使用日程に示す時間帯で、「17 練習について（練習会場注意事項）」に基づき練習することができる（練習会場の競技役員の指示に従い練習が可能である）。

3 招集について

(1) 招集所は、バックスタンドの北側の裏（掲揚台の北側）に設置する。

(2) 招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラム記載の競技日程のとおりとする。

(3) 招集の方法

① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピン・競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類の商標の点検を受ける。トラック競技のみ、腰ナンバー標識（2枚）を受け取る。

② 携帯電話等、競技規則TR6.3.2に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。

③ 代理人による最終点呼は認めない。2種目同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所に用意する「多種目同時出場届」に記入し、1種目目の招集時に招集所へ提出する。

④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとする。

(4) 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出すること。

4 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは主催者が2枚配布する（胸・背用）。着用については競技規則TR5を厳守すること。

(2) 5000m以上の種目では、胸部に特別ナンバーカードをつける。招集所で、自身のアスリートビブスを提示し、受け取ること（返却の必要なし）。

(3) 腰ナンバー標識について（招集所で配布）

① トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識をシャツまたは下半身の左右後方につける。

② 4×100mリレーでは最終走者、4×400mリレーでは、第2・第3・最終走者は腰ナンバー標識をつける。

5 競技場内への入退場について

(1) 競技場内へは、招集終了後に競技者係の誘導により入場する。

(2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い、最寄りのゲートから退場する。

なお、衣類搬送は行わない。100m・110mH・100mH・3000mSCにおいて、スタート地点に戻る際は、雨天走路を通ること。その他のトラック競技においては、第1曲走路及びバックストレートの部分をスタンド壁面に沿って戻ること。

6 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

(1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順番による。

- (2) トラック競技の決勝の組合せ及びレーン順は、招集所の掲示板に掲示する。
または、プログラム記載のQRコードを読み取って、競技会ウェブサイトでも確認できる。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同成績があった場合、写真判定員主任が0.001秒の単位の実時間を判定して決定する。(競技規則TR21.5)。レーンが不足する場合は抽選とする。
- (4) トラック競技において決勝に進出する条件は、プログラムの「競技日程」の「組着」の欄に記載のとおり(予選の順位と記録をもとに決定)とする。また、トラック競技の一部の種目でおこなう「決勝②」には、決勝に進出する競技者以外の、予選の記録の9番目から16番目の競技者が、上記(3)と同条件で進出する。
- (5) 決勝②を実施する種目で、決勝に進出する競技者が決勝を欠場しても、決勝②から決勝への繰り上げは行わない。また、決勝②に進出する競技者が決勝②を欠場しても、予選の記録の17番目以降の競技者から決勝②への繰り上げは行わない。

7 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定システムによる全自動計時(電気計時)を使用する。
 - ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ③ 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
 - ④ 一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする(競技規則TR16.7,8)。
- (2) フィールド競技について
 - ① 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカー(走高跳は助走路内に各自の用意したマーカー)を2個まで使うことができる。また、サークルから行う投てき競技では、マーカーを1個だけ使用することができる。
 - ② 棒高跳の競技者は、招集所で所定の「アップライト申告書」を受け取り、招集開始時刻に招集所の競技者係に提出する。その後、位置を変更したい場合は担当競技役員に申し出る。
 - ③ 投てき種目はすべてNDソフトスタジアム山形で行う。
 - ④ 三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子9mの地点に設置する。(ただし、天候等の状況により変更することもある)
 - ⑤ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。ただし、ハンマー投の公式練習は1回とする。
 - ⑥ フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。
 - ⑦ フィールド競技の試技時間は、次のとおりである(競技規則TR25.17)。

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上(各競技者の最初の競技)	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技*	2分	3分	2分

* 残っている競技者が2名以上の時に適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合も適用する。

- (3) リレー競技について
 - ① リレーに出場するチームは、所定の「リレー・オーダー用紙」に記入のうえ、招集完了時刻の1時間前までに、競技者係(招集所)に提出すること。一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない(競技規則TR24.11)。
 - ② 4×100mリレーの第2、第3、第4走者は、各自用意したマーカー(1カ所)を使用することができる。マーカーは各チームで用意し、レース終了後に取り除くこと。
 - ③ 4×400mリレーの第3・第4走者は、審判員の指示に従い、前走者が第2曲走路入り口(200mスタート地点)を通過した順序で、内側より並び待機する。
- (4) 競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CDプレイヤー・トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない(競技規則TR6.3.2)。所持または使用していた場合は、主催者で預かり競技終了後に返却する。
- (5) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない(競技規則TR25.19)。
- (6) 不当な行為をした競技者には、当該審判長から警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。

警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。なお、スタート時のイエローカード（競技規則 TR16.5）については、その種目限りとする。

- (7) 提出書類は次のとおりとする。（用紙は招集所に用意）

提出書類	提出場所	提出時刻
欠場届	招集所	招集開始時刻まで
多種目同時出場届	招集所	第1種目の招集開始時刻まで
リレー・オーダー用紙	招集所	第1組目の招集完了時刻1時間前まで
アップライト申告書	招集所	招集開始時刻に
上訴申立書(預託金1万円)	T I C (正面入口内)	競技規則 TR8 による
記録証明書交付願	T I C (正面入口内)	各競技終了後随時 (500円を添える)

T I C : Technical Information Centre テクニカル・インフォメーション・センター

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次のとおりとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	1m65/1m80/1m90	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	3cm
	女子	1m35/1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	3cm
棒高跳	男子	任意の高さで2回行う	3m40 から 4m00 まで : 20cmずつ 4m00 から 4m80 まで : 10cmずつ 4m80 から : 5cmずつ					
	女子	任意の高さで2回行う	2m20 から 2m60 まで : 20cmずつ 2m60 から 3m50 まで : 10cmずつ 3m50 から : 5cmずつ					

- (2) 棒高跳の公式練習はゴムバーで行う。
 (3) ジャンプオフ（第1位決定戦）におけるバーの上げ下げの幅は、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。
 (4) 上位大会の出場権を決定する必要がある場合は、別大会として上記(3)と同様に行う。

9 競技用具について

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

ただし、投てき物の持ち込みを希望する競技者は、招集開始時刻30分前から招集開始時刻までに、招集所の競技者係に申し出る。検査に合格した投てき用具については、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後に大会本部のT I Cで返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。

10 競技用靴について（競技規則TR5.2）

- (1) スパイクの長さは、9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクの数は、11本以内とする。
 (2) WR k対象種目は、WA規則に従う。靴底の厚さは、トラック種目について、800m未満の種目は20mm、800m以上は25mm、競歩は40mmまでとする。フィールド種目（三段跳を除く）は20mm以内、三段跳は25mm以内とする。

11 結果発表と抗議について

結果記録の掲示は行わない。プログラム記載のQRコードを読み取り、競技会ウェブサイトを確認できる。

- (1) 各種目の結果発表は、大型スクリーン（電光掲示板）及びアナウンスで行う。正式発表の時刻は、大型スクリーン表示終了時刻とする。
 (2) 発表された結果に対する抗議は、30分以内（ただし、同一日に次のラウンドがある場合は15分以内）に競技者自身または代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で申し出ること。審判長が裁定し、担当総務員を通じて伝える。この裁定に対して上訴する場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。（競技規則 TR8.2、3）

12 表彰について

- (1) 選手権種目の表彰は、正面スタンド前で行う。各種目の1位の競技者には、選手権章(メダル)と賞状及び副賞を、2位・3位の競技者には賞状を授与する。表彰の際の服装については、Tシャツまたはジャージを着用すること。
- (2) 国体県予選会における各種目の優勝者、第2位・第3位の競技者には賞状を授与する。各自、雨天走路内の表彰係より受け取ること。

13 個人情報の取扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守し個人情報を取扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に使用する。
- (2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

14 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」に示すサイズ・個数を超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、T I Cに連絡する。
- (3) 競技場内での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣については、男性は「男子ロッカー室」、女性は「女子ロッカー室」を利用することができる(NDソフトスタジアム山形1階、メインスタンド下)。ロッカー室は更衣のみに使用し、長時間の滞在は避けること。また、荷物は各自で管理すること。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (6) 届けられた遺失物については、T I Cで保管する。保管期間は7月16日(日)の競技会終了までとする。
- (7) スタンドを含む競技場内への横断幕・旗等の設置について、本競技場では、サイドスタンド及びバックスタンドの中段より上のフェンスに、幟(のぼり)は最上段のフェンスに設置すること。
- (8) 正面スタンド中央部付近でのスタンドから競技者とのコミュニケーションについては、大会本部での競技運営の妨げになるので禁止する。

15 スタンドからの応援について

- (1) 集団応援は、観客や他の競技に支障のないように留意し、主催者からの指示に従うこと。
- (2) その他応援については、以下のとおりとする。
 - ① メインスタンドでの集団応援は禁止とする。
 - ② サイドスタンド、バックスタンドでの集団応援は中段以上とし、フィールド競技の実施場所付近では配慮すること。
 - ③ トラック競技のスタート時、フィールド競技で競技者が試技開始する時は静粛にする。

16 上位大会への出場について(本大会の実施要項【別記2】参照)

要項 15 国民体育大会出場選手の選考

- (1) 特別国民体育大会(鹿児島国体)選手選考基準に基づき行う。
- (2) 国体種目の優勝者については、候補選手とし、個票(個人情報)の提出、及びユニフォーム・ジャージの試着を行う。

要項 16 東北総体の参加資格及び申込み

- (1) 参加資格
個人種目は、各種目上位2名を資格取得者とする。
各種目に山形陸協推薦(1名)がない場合は、上位3番目を資格取得とする。

ただし、上位者が辞退した場合は、順次資格取得者を繰り上げる。

リレー種目は、各種目上位2チームを資格取得者とする。

ただし、県選抜チームが編成される場合には、上位1チームを資格取得者とする。

上位チームが辞退した場合は、順次資格取得チームを繰り上げる。

(2) 申込み

申込みは、各日最終種目終了後、30分以内に手続きを行うこと。

ただし、高校生は、前段の時間まで各個人で個票申込みをするとともに、各高校顧問が、一覧表と参加料をまとめて大会期間中に申込担当庶務係に申込みを行うこと。

17 練習について（練習会場注意事項） 次ページの記載事項・表も参照のこと

(1) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。

(2) 大会運営で使用するため雨天走路は原則として開放しない。

(3) 投てき会場では危険が伴うので十分注意して行うこと。なお、使用する投てき用具は各自持参すること。

(4) 各練習会場のトラックのレーン内において、次の行為を禁止する。

ミニハードルなどの練習用具をレーン上に置いての練習 / チューブやロープ等でけん引する練習
逆走 / 準備運動、ドリル等の技術練習 / 急に減速したり、立ち止まったりする行為
不用意にレーンを横切る行為

(5) NDソフトスタジアム山形（主陸上競技場）及びサブグラウンドでの練習は、次のとおりとする。

① <NDソフトスタジアム山形の使用>

ウォームアップでの使用を認める。

② <サブグラウンドのレーンの使用区分>

競走路の使用は、原則として以下の通りとする。

各レーンとも、第4コーナーからホームストレートの交点付近は危険なので、特に注意すること。

- ・ 周回1～2レーン：中・長距離（800m以上の種目）
- ・ 周回3～4レーン：短距離（100m～400m）、リレーの種目
- ・ 5～6レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル
- ・ 4～6レーン（ホームストレート）：スターティングブロック設置可
- ・ 7～9レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル
- ・ ジョギングは、トラック外側の芝生帯で行うこと。

※ ただし、当日の競技種目により、レーンの使用区分を変更する場合もある。

(6) 競技終了後の高校生・中学生の練習は、各学校の顧問の指導及び責任のもとで行うこと。

18 テントの設営について

テントを設営する際は、地面とテントの支柱をロープと杭等により固定するか、または支柱にバランスよくテントウエイト（重し：土砂などを入れた袋等(10～30kg程度)を支柱にくくりつける等）を取り付けること。また、危険と判断される突風、つむじ風などが発生した時は、テントをたたむこと。

※ 各種目の練習については、安全に十分留意しておこなってください ※023. 7. 2 版
練習会場使用日程 第76回山形県陸上競技選手権大会 特別国民体育大会陸上競技山形県予選会

NDソフトスタジアム山形 (主陸上競技場)

	7月14日(金)	7月15日(土)	7月16日(日)
棒高跳	9:30~11:50	7:30~8:50(男子) 競技終了後~18:00(女子)	7:30~9:20(女子)
トラック競技	競技終了後の後片付けが終わった後※1~18:00※2	7:30~8:30 競技終了後の後片付けが終わった後※1~18:00※2	7:30~8:30

- ※1 競技場の状況を担当競技役員が確認し、主競技場を練習会場として開放することを、放送で知らせる。
- ※2 競技終了後の後片付けが終わった後、18:00まで、主競技場で走高跳、走幅跳、三段跳の練習は可能である。ただし、必要な用器具(練習用)を、使用する競技者が準備し、後片付けること。
- ※競技会第2日・第3日の棒高跳の練習会場は、主陸上競技場とする。
 (競技会第2日・第3日は、サブグラウンドに棒高跳用のマット・支柱等を設置しない)

サブグラウンド

7月14日(金)	7月15日(土)	7月16日(日)
9:30~17:00	7:30~17:00	7:30~15:30

- ※走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の練習は、サブグラウンドで行うこともできる。
- ※投てき競技については、「投てき競技練習会場及び日程」を参照のこと。

投てき競技練習会場及び日程

の囲みは、その種目で練習会場を占有して使用することを示す

	7月14日(金)		7月15日(土)		7月16日(日)	
	サブグラウンド	投てき練習場=運動広場	サブグラウンド	投てき練習場=運動広場	サブグラウンド	
	砲丸投	やり投	砲丸投	やり投	砲丸投	やり投
7:00						
:30						
8:00				7:30 男子 円盤投	7:30 女子 砲丸投	7:30 男子 やり投
:30	9:30より前は使用不可			8:50		9:10
9:00				8:50 女子 円盤投	9:40	9:10
:30				10:00	9:40	
10:00		10:00 少年男子B 円盤投		10:00 男子 ハンマー投	男子 砲丸投	女子 やり投
:30		11:30				
11:00		11:30 少年女子B 円盤投		12:10	12:20	12:20
:30		13:00		12:10 女子 ハンマー投	12:30より後は 使用不可	
12:00		13:00 少年男子A ハンマー投		14:20		
:30		14:30				
13:00				14:30より 後は 使用不可		
:30						
14:00						
:30						
15:00						
:30						
16:00						
:30						
17:00						

天童市内の救急告示病院

天童市民病院	023-654-2511	天童市駅西5丁目2-1
天童温泉篠田病院	023-653-5711	天童市鎌田1丁目7-1
吉岡病院	023-654-1188	天童市東本町3丁目5-21

気象情報

大会名	第76回山形県陸上競技選手権大会	実施日	2023年7月14日～16日
	特別国民体育大会山形県予選会	会場	NDソフトスタジアム山形

	時刻	天候	気温 (°C)	湿度 (%)	風向	風速 (m/s)
7 月 14 日	12:30					
	13:00					
	14:00					
	15:00					
	16:00					
	17:00					
7 月 15 日	9:30					
	10:00					
	11:00					
	12:00					
	13:00					
	14:00					
	15:00					
7 月 16 日	9:30					
	10:00					
	11:00					
	12:00					
	13:00					
	14:00					
	15:00					